

姫路市消費者教育推進計画 平成28年度進捗状況

姫路市消費者教育推進計画第5章の「2 計画の検証と評価」に基づき、同計画に定めた施策の体系に掲げる3つの基本方針に沿った市の施策・事業の取組について、その進捗状況を取りまとめた。

※進捗状況 ◎順調に計画どおり実施 ○概ね計画どおり実施 △計画をやや下回る（検討中、実施予定）
×計画を下回る（未着手）

I 施策全体の進捗状況

基本方針		進捗状況			
施策の方向	事業数	◎	○	△	×
基本方針1：ライフステージや場に応じた体系的な消費者教育の推進					
(1) 学校教育等における消費者教育の推進	7	4	3	0	0
(2) 地域・家庭における消費者教育の推進	20	12	8	0	0
(3) 職域における消費者教育の推進	3	1	2	0	0
基本方針2：消費者教育の人材（担い手）の育成・活用					
(1) 学校教職員の指導力の向上	3	2	0	1	0
(2) 地域人材の育成・活用	5	4	1	0	0
基本方針3：消費者教育の教材等の充実、効果的な情報収集・発信					
(1) 消費者教育の教材等の作成・活用	8	7	1	0	0
(2) 消費者教育の効果的な情報収集・発信	8	7	1	0	0
合 計	54	37	16	1	0

平成28年度は、3つの基本方針に基づき54事業を展開したが、「未着手」の事業はなく、「順調に計画どおり実施」又は「概ね計画どおり実施」が53事業となり、全体として計画どおりの成果があったと評価できる。

II 施策の基本方針の進捗状況

基本方針1：ライフステージや場に応じた体系的な消費者教育の推進

- (1) 学校教育等における消費者教育の推進
① 幼・小・中・高・特別支援学校

事業名 [担当部署]				
内 容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗 状況	29年度予定
各教科等における体系的な消費者教育の推進（学校園消費者教育指針の作成）[教育委員会総務課]				
市立学校園の教職員を対象として、消費者教育を進めるため「姫路市学校園消費者教育指針」を作成し、教科横断的・体系的な消費者教育を推進する。	1,800冊 (概要版)5,000部	幼・小・中・高・特別支援学校を通じた消費者教育の体系化、学校教育における消費者教育の推進(P14)	◎	運用を開始
小・中・高等学校への情報モラル教育支援ソフトの配信 [教育委員会教育研修課]				
情報モラル教育を支援する教材ソフトを総合教育センターより配信し、授業等での活用を促す。	小学校 69校 中学校 35校 特別支援学校 1校 に配信	幼・小・中・高・特別支援学校を通じた学校教育における消費者教育の推進、消費者トラブルへの適応力の育成(P14)	◎	活用学年や使用教材数の増加を図り、一層の活用を促す。

小・中・高校生向け啓発パンフレットの活用 [教育委員会学校指導課]				
消費生活センター等が配布する啓発パンフレットの活用を促す。	小学校 69校 5,174部 中学校 35校 5,054部 高校 3校 822部	同上	◎	引き続き実施
児童生徒を対象とした啓発講座（出前講座）の活用 [教育委員会学校指導課]				
学校において消費者教育の授業の一環として、消費生活センター等が実施する啓発講座（出前講座）の活用を促す。	7月12日 中学校 1校 1回 参加生徒 392人	同上	○	引き続き実施

② 大学等

事業名 [担当部署]				
内 容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗 状況	29年度予定
大学入学時ガイダンス等における出前講座の実施 [消費生活センター]				
姫路獨協大学において「総合教養講座（地域政策と地域貢献）」の一環として、消費者市民社会の構築と消費者被害防止に向けた出前講座を実施。	1月19日 姫路獨協大学 参加学生 40人	学生に対して早い段階で啓発を行うなど、大学等と連携した取組を実施(P14)	○	大学側に呼びかけて引き続き実施
大学生向け啓発パンフレット等の作成・活用 [消費生活センター]				
大学生を対象に、消費者被害防止に向けた若者向け啓発パンフレットを作成し、入学式の際に新入生に配付。 再掲	「若者のための消費者トラブル回避マニュアルこれってアヤシクない？」1,650部 作成 市内各大学に約1,500部配布	同上	◎	引き続き実施
大学内の情報センターなど学生の目に触れやすいところに啓発用パンフレットを設置し、消費生活センターのPRや消費者被害防止の広報啓発を実施。	姫路獨協大学	同上	○	市内各大学においても実施

(2) 地域・家庭における消費者教育の推進

① 子供、保護者

事業名 [担当部署]				
内 容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗 状況	29年度予定
親子で学ぶお金の学習会の開催 [消費生活センター]				
金融トラブルの若年層への広がり等を踏まえ、小学生高学年親子を対象に身近なお金の問題についての学習会を開催。	8月17日 市民会館 会議室 参加者 30組 60人	親子で参加できる学習会の開催など、家庭での消費者教育を支援(P15)	◎	金銭教育に限らず、小学生向けの学習会を引き続き実施
子供、保護者を対象とした啓発講座（出前講座）の実施 [消費生活センター]				
学校において消費者教育の授業の一環として、消費者被害防止に係る出前講座を実施。 再掲	7月12日 中学校 1校 1回 参加生徒 392人	保護者会、PTA活動など各種団体への出前講座の実施、子供の消費者被害や事故防止に向けた各種情報の提供など家庭での消費者教育を支援(P15)	○	引き続き実施

幼・小・中・高・特別支援学校等のPTAや保護者を対象にした子育て教室の講師リストに、「自立した次世代の担い手を育てる（金銭感覚と小遣い）」についての講師を掲載。	あすなる教室 杉の子教室 わか葉教室 ふた葉教室	同上	○	引き続き実施
小・中学生、高校生向け啓発パンフレットの作成・配付 [消費生活センター]				
小学5年生、中学1年生、高校1年生を対象に消費者被害防止に向けたパンフレットを作成し、配布。 再掲	小学校 69校 5,174部 中学校 35校 5,054部 高校 3校 822部	子供の消費者被害や事故防止に向けた各種情報の提供など家庭での消費者教育を支援(P15)	◎	引き続き実施

② 若者

事業名 [担当部署]				
内容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗状況	29年度予定
若者向け啓発パンフレットの作成・配布 [消費生活センター]				
若者向け啓発パンフレットを作成し、配布。	「若者のための消費者トラブル回避マニュアルこれってアヤシくない？」1,650部	社会人として求められる知識など、若者への消費者教育を実施(P15)	◎	引き続き実施
若者を対象にした出前講座の実施 [消費生活センター]				
大学において、消費者市民社会の構築及び消費者被害防止に向けた出前講座を実施。再掲	1月19日 姫路獨協大学 参加学生 40人	同上	○	大学側に呼びかけて引き続き実施
市内事業者において、新人研修の一環として、消費者被害防止に向けた出前講座を実施。再掲	4月21日 1事業者 参加者 65人	同上	○	引き続き実施

③ 成人一般

事業名 [担当部署]				
内容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗状況	29年度予定
情報紙「消費生活センターだより」の発行 [消費生活センター]				
「ひ・め・じ・し消費生活センターだより」を年2回、上半期号・下半期号として作成・発行し、市内出先機関や福祉関係機関等に配布。再掲	上半期号(6月) 下半期(12月) 発行 各 5,000部 送付先 548施設	情報発信や各種講座開催など消費者教育や啓発活動の実施、消費生活センターのPRと機能の充実(P15)	◎	引き続き実施
市ホームページによる情報発信 [消費生活センター]				
市ホームページにおいて、各種セミナー、講座、講演会の参加者募集記事やトラブル事例等を掲載。再掲	随時	同上	○	引き続き実施
市民を対象にした出前講座の実施 [消費生活センター]				
公民館等において、消費者被害防止に向けた出前講座を実施。	5回	同上	○	引き続き実施
消費生活セミナーの開催 [消費生活センター]				
衣食住をテーマに「消費生活セミナー」を開催。	5月26日 自治福祉会館 参加人数 37人	同上	◎	引き続き実施

消費生活法律講座の開催 [消費生活センター]				
様々な消費生活の問題を法律の観点から学ぶ「消費生活法律講座」を開催。	7月20日、27日 8月3日、9日(全4回) 市民会館 参加人数 延82人	同上	◎	引き続き実施
金融経済講演会の開催 [消費生活センター]				
くらしに役立つ金融に関する講演会を開催。	11月14日 市民会館 参加人数 51人	同上	◎	引き続き実施

④ 高齢者等

事業名 [担当部署]				
内容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28~32年度)	進捗状況	29年度予定
高齢者向け啓発パンフレットの作成・配布 [消費生活センター]				
高齢者向け啓発パンフレットを作成し、配布。	「悪質商法こんな手口に気をつけて」 1,000部	地域の支え合いや福祉関係者との連携など見守り者の観点からの消費者教育を推進(P15)	◎	引き続き実施
高齢者を対象にした出前講座の実施 [消費生活センター]				
校区老人クラブ等の高齢者を対象に、消費者等被害防止に向けた出前講座を実施。	18件 楽寿園(月1回)など	同上	◎	引き続き実施
高齢者向け講演会の開催 [消費生活センター]				
高齢者向け講演会「だまされないで、その話！～特殊詐欺の実態と予防策～」を開催。	9月5日 生涯学習大学校 参加人数 55人	同上	◎	引き続き実施
見守り者対象講演会の開催 [消費生活センター]				
見守り者対象講演会「高齢者や障害者を消費者被害から守るために」を開催。	12月8日 市民会館 参加人数 27人	同上	◎	引き続き実施
高齢者、障害者の被害防止に向けた見守りネットワークの活用 [消費生活センター]				
中播磨高齢者・障害者の消費生活被害防止ネットワーク会議への参加。 (構成機関：警察、社会福祉協議会、民生児童委員、自治会、地域包括支援センター、職業自立センター、コープこうべ、中播磨消費生活創造センター、消費生活センター)	7月5日 中播磨消費生活創造センター	同上	○	引き続き実施
警察との連携 [消費生活センター]				
消費生活侵害事犯の被害が疑われる相談情報を警察へ提供し、被害の未然防止・拡大防止を図る。	2月1日、姫路三警察署との間で申し合わせを締結	同上	◎	引き続き連携を図る。
地域包括支援センター等の福祉関係者との連携 [消費生活センター]				
必要に応じて情報の提供、トラブル等に対するあっせん・アドバイス。ケアマネージャー等福祉関係者からの情報の提供。地域包括支援センターにおいて、消費者被害防止に向けた出前講座を実施。	情報提供 随時 出前講座 3件	同上	○	引き続き実施

(3) 職域における消費者教育の推進

事業名 [担当部署]				
内 容	28 年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32 年度)	進捗 状況	29 年度予定
社員研修等への講師派遣、出前講座の実施 [消費生活センター]				
市内事業者において、新人研修の一環として、消費者被害防止に向けた出前講座を実施。	4 月 21 日 1 事業者 参加者 65 人	事業者が行う社員研修等への講師派遣や出前講座の実施など職域における消費者教育を支援 (P16)	○	引き続き実施
事業所における社員研修の一環として、消費者被害防止に向けた出前講座を実施。	2 件	同上	○	引き続き実施
社会人対象啓発パンフレット、DVD等の作成・活用・貸出 [消費生活センター]				
消費者啓発パンフレットを作成し、配布。[再掲]	「自分だけは大丈夫 と思いませんか？」1,000 部	同上	◎	引き続き実施

基本方針 2：消費者教育の人材（担い手）の育成・活用

(1) 学校教職員の指導力の向上

事業名 [担当部署]				
内 容	28 年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32 年度)	進捗 状況	29 年度予定
小・中・高等学校教職員への研修の実施 [教育委員会教育研修課]				
課題教育の一つとして、教職員研修を実施し、消費者教育の推進を図る。	幼稚園・小・中・高・特別支援学校の教職員を対象とした課題研修「消費者教育研修」を実施 受講者数 150 人	教職員向け研修等の実施、講師の派遣や教材提供など、教職員向けの消費者教育を支援 (P17)	◎	課題研修「消費者教育研修」を実施し、各教科等での消費者教育推進を促す。また学校園の求めに応じて、指導主事を派遣し指導・助言を行う。
学校教職員への啓発パンフレット等の提供 [教育委員会総務課・教育研修課]				
学校園の教職員へパンフレット等を提供し、活用を促す。	全学校園教職員への「姫路市学校園消費者教育指針 [概要版]」の配布	同上	◎	姫路市学校園消費者教育指針 [概要版] の活用を促す。
大学教職員への消費者トラブル最新情報等の提供 [消費生活センター]				
大学教職員を対象に啓発パンフレットや最新のトラブル事例等の情報を提供。	検討中	最新情報の提供、講師派遣や出前講座の実施など、教職員向けの消費者教育を支援 (P17)	△	大学側に呼びかけ実施

(2) 地域人材の育成・活用

事業名 [担当部署]				
内 容	28 年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32 年度)	進捗 状況	29 年度予定
消費生活相談員レベルアップ研修の実施 [消費生活センター]				
消費生活相談員のレベルアップのための消費者問題研修会・相談情報交換会・苦情事例研究会・学習会等に参加。	消費者問題研修会 6 回 相談情報交換会 12 回 苦情事例研究会 5 回 その他学習会等 16 回	消費者教育の担い手の一翼を担う消費生活相談員の育成・活用 (P17)	◎	引き続き実施

消費生活相談ネットワークシステム（パイオネット）の活用 [消費生活センター]				
消費生活相談ネットワークシステム（パイオネット）を活用し、最新情報の収集。	随時	同上	◎	引き続き実施
消費者団体・グループ、事業者・事業団体等への出前講座の実施 [市関係課]				
生活学級の学習活動で出前講座を実施。	消費生活センター1件 他課5件	地域で活動する消費者団体等による自主的な消費者教育の担い手の育成活動への支援を強化（P17）	○	引き続き実施
消費者啓発パンフレット等の配付 [消費生活センター]				
市役所ロビーや消費生活センター内外のパンフレットラックに消費者啓発パンフレット等を設置。学校や一般団体・生活学級生等に消費者啓発パンフレット等を提供。	随時	同上	◎	引き続き実施
生活学級（消費者グループの活動支援事業）の実施 [消費生活センター]				
消費生活に関する自主的な学習活動を行う場として、生活学級を実施。	9学級 学級生532名	同上	◎	引き続き実施

基本方針3：消費者教育の教材等の充実、効果的な情報収集・発信

(1) 消費者教育の教材等の作成・活用

事業名 [担当部署]				
内容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28～32年度)	進捗状況	29年度予定
幼児向け絵本の作成・配付 [消費生活センター]				
幼児向け教材として、絵本「たいせつなおやくそく」を作成し、市内教育機関・図書館・関係機関に配布。	幼稚園 37園 図書館 14館 児童センター等 11施設	年齢や様々な場の特性に応じた啓発パンフレット等の教材作成、効果的な活用（P18）	◎	絵本の活用を図る
小・中学生、高校生向け啓発パンフレットの作成・配布 [消費生活センター]				
小学5年生、中学1年生、高校1年生を対象に、消費者被害防止に向けたパンフレットを作成し、授業教材（副読本）として配布。再掲	小学校 69校 5,174部 中学校 35校 5,054部 高校 3校 822部	同上	◎	引き続き実施
若者向け啓発パンフレットの作成・配付 [消費生活センター]				
大学生や若者を対象に、消費者被害防止に向けた若者向け啓発パンフレットを作成し、配付。再掲	「若者のための消費者トラブル回避マニュアルこれってアヤシくない？」1,650部	同上	◎	引き続き実施
一般向け啓発パンフレットの作成・配付 [消費生活センター]				
全世代を対象に、消費者被害防止に向けたパンフレットや食品表示・製品事故等の消費者啓発パンフレットを作成し、配布。	「自分だけは大丈夫と思っていませんか？」（全世代向け）1,000部	同上	◎	引き続き実施
高齢者向け啓発パンフレットの作成・配付 [消費生活センター]				
高齢者向け啓発パンフレットを作成し、配布。再掲	「悪質商法こんな手口に気をつけて」1,000部	同上	◎	引き続き実施

消費者啓発DVDの購入・活用・貸出 [消費生活センター]				
貸出し用として、消費者啓発DVDを購入。	高齢者向け1巻	同上	○	引き続き実施
学生向け・一般向け・高齢者向けの啓発DVDを貸出。	学生向け4回 一般向け3回 高齢者向け3回	同上	◎	引き続き実施
姫路市作成DVD「しろまるひめの消費者トラブルの防止講座」等を出前講座や貸出し用として活用。	出前講座19回 貸出2回	同上	◎	引き続き実施

(2) 消費者教育の効果的な情報収集・発信

事業名 [担当部署]				
内 容	28年度実績	計画【個別目標】 (実施時期 28~32年度)	進捗 状況	29年度予定
情報紙「消費生活センターだより」の発行 [消費生活センター]				
「ひ・め・じ・し消費生活センターだより」を年2回、上半期号・下半期号として作成・発行し、市内出先機関や福祉関係機関等に配布。	上半期号(6月) 下半期(12月) 発行 各5,000部 送付先548施設	情報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信(P18)	◎	引き続き実施
市ホームページによる情報発信 [消費生活センター]				
市ホームページにおいて、各種セミナー・講座・講演会の参加者募集記事やトラブル事例等を掲載。	随時	同上	○	引き続き実施
テレビを活用した情報発信 [消費生活センター]				
姫路ケーブルテレビにおいて、消費者被害防止のため作成したトラブル事例紹介番組を放映。	放映時期2~3月 5分番組(4パターン×95本)	同上	◎	引き続き実施
ラジオを活用した情報発信 [消費生活センター]				
ラジオ(FMゲンキ)において、消費生活センターを紹介するスポットCMを放送。	放送時期8月 20秒スポットCM×15本	同上	◎	引き続き実施
新聞を活用した情報発信 [消費生活センター]				
神戸新聞「消費者トラブルQ&A」にトラブル事例と解決アドバイスの記事を掲載。また「消費者の日」に合わせたの記事を掲載。	「消費者トラブルQ&A」 掲載2回 「消費者の日」 掲載1回	同上	◎	引き続き実施
街頭啓発キャンペーンの実施 [消費生活センター]				
JR姫路駅中央改札口北側付近でのぼりを掲出し、啓発グッズを配布。	実施日5/30 啓発グッズ(ポケットティッシュ・ボールペン)約800セット配布 参加人数12名	同上	◎	引き続き実施
姫路市公用車に啓発用マグネットを貼付 [消費生活センター]				
公用車に、消費生活センターを紹介する啓発用マグネットを貼付。	実施回数2回 実施時期5/1~31 12/1~28	同上	◎	引き続き実施
各関係団体等作成の啓発パンフレット等の配布 [消費生活センター]				
各関係団体等作成の啓発パンフレット等を庁舎内に設置。また本市開催の各種セミナー、講座、講演会において配布。	設置 随時 配布 各種セミナー等7回	各関係団体等が取り組んでいる消費者向け情報発信の促進(P18)	◎	引き続き実施